

三心連 第 1906 号

令和 元年 5月 21日

社会福祉法人

朝日新聞厚生文化事業団名古屋事務所所長 様

三重県心理リハビリテーション連合会

会長 金森 真由 美



第34回中部ブロック動作法セミナー（ご後援のお願い）

拝 啓

時下 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本会の活動に、ご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、本年も、開催を望む切なる親の願いが強く、心身障害児（者）の自立更生をめざし、動作の改善、心理面の成長と全人格の総合的な発達を図る目的で、心理リハビリテーション（臨床動作法）を研修するための動作法セミナーを下記のように計画いたしました。

つきましては、主旨をご理解下さいまして、ご後援下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 名 称 第34回中部ブロック動作法セミナー

2. 実施主旨

障害児（者）の動作学習を心理リハビリテーションに基づいて行い、動作改善、及び心身の発達をめざし、社会自立の為の動機づけを行う。

2. 主 催 三重県心理リハビリテーション連合会

3. 後 援 三重県教育委員会、三重県社会福祉協議会、鈴鹿市、鈴鹿市社会福祉協議会、中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、NHK 厚生文化事業団、朝日新聞（各申請中）

協 力 心理リハビリテーション資格認定委員会

5. 開催期間 令和 元年8月17日(土)～8月23日(金)

(17日は事前研修)

6. 会場 三重県立 鈴鹿青少年センター

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町南谷口

電話 059-378-9811

7. 指導者(敬称略)

鈴鹿市療育センター

中川 義文

三重県立城山特別支援学校

山口 章康

愛知学院大学

浅菜 知香

NPO 法人南勢子どもの発達支援センターえがお

金子 直由

他 動作訓練熟練者 3名

8. 参加者 動作訓練指導者 7名

動作訓練研修者 15名

動作不自由児(者) 15名

保護者 15名

動作訓練サブ 5名

9. 研修の形態 一週間宿泊集団集中訓練(臨床研修)

心理リハビリテーション、動作法では、動作不自由がある人が、自分の意図通り身体を動かす努力の仕方を学習し、動かし方ができる、わかることが目当てになります。

研修方法は心理リハビリテーション資格認定委員会 SV の資格を持った指導者のもと、トレーニーは、トレーナーの先生と一対一で、1回1時間、一日3回の訓練を一週間頑張ります。その中で、自分の身体を思ったように自分で操作する身体の動かし方を学習していきます。あくまでも主体者は動作不自由をもったトレーニー自身なのです。思ったように使いこなしたりできるか、トレーナーはSVの助言を受けながら、個々に合った援助の方法を探しながら、試しながら、努力させてより適切な動作を身につけさせていきます。

また、集団でゲームをしたりする中で、他者と関わりながら積極的に活動できることを目指す集団療法の時間もあります。また、年長のトレーニーは青年隊を組織し、キャンプの中でいろいろな人と話をし、自らを高める機会もあります。

10. 添付資料

連合会規約、スケジュール、予算書、募集案内

連絡先

〒510-0885 四日市市日永 1-4-29

三重県心理リハビリテーション連合会 事務担当 伊藤路一

Email: mie-shinriha@ito61.com TEL 059-345-5708